

平成30(2018)年度社会福祉法人あかつき福社会

事業報告書

社会福祉法人あかつき福社会

2018年 4月



余暇活動(バスツアー)
〈グループホーム〉



幸せの黄色いレシートキャンペーン
贈呈式 〈ささゆり園〉

5月



春の所外活動(万博記念公園)
〈わんすてつぷ〉

6月



春の所外活動(神戸空港)
〈あかつき園・ワークセンター〉

7月



クッキング活動〈ショートステイ室〉

8月



プール活動〈ささゆり園〉

8月



納涼祭

10月

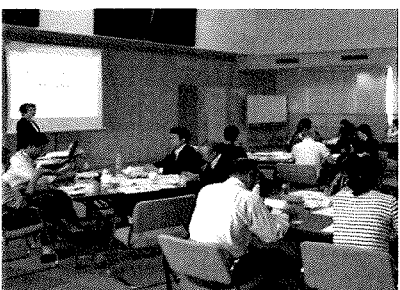


宿泊旅行(和歌山マリナシティ)〈ささゆり園〉



せいなん幼稚園の皆さんとお芋ほり
〈あかつき園・ワークセンター〉

10月



職員研修(他法人と合同)

11月



秋の所外活動(みかん狩り)
〈あかつき園・ワークセンター〉



40周年記念イベント

12月



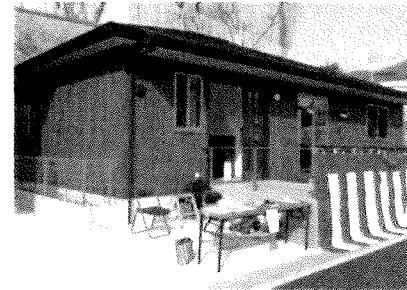
クリスマス会〈あかつき園・ワークセンター〉

2019年 1月



避難訓練

3月



建て貸し方式による新グループ
ホームへ移転 〈グループホーム〉

1. 平成30(2018)年度全体概要報告

(1) 指定管理期間の1年間延長

【法人本部(総務課)】

平成30年度末で指定管理期間が終了となる「箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり」「箕面市立障害者福祉センターささゆり園」について、11月～12月に公募された次期指定管理者(平成31～40年度)に一旦応募をしたが、示された指定管理料と当福祉会が考える運営費用の開きが大きく、1月に応募の取り下げを行った。

その後、「箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり」「箕面市立障害者福祉センターささゆり園」ともに次期指定管理者が決定しなかったことを受けて箕面市から現指定管理期間の1年間延長の要請があり、1年間の延長を行うこととした。

(2) 給食提供体制の見直し

【法人本部(総務課)】

運営管理や収支状況の改善、利用者・家族の要望、今後の食事提供体制のあり方についての検討を行った結果、9月より給食業者への委託に切り替えるとともに、クックチル方式から現場調理方式への変更及び瀬川地区で一括調理してささゆり園に瀬川地区から運搬する仕組みへの変更を行った。

(3) さをり製品の商品拡大

【箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり】

さをり製品を、幅広い年代向けに商品を14種類増やしたことにより売上が前年度より8万8千円(38%)増加した。

(4) 生活介護の延長支援の実施

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

ささゆり園では、5月より生活介護の延長支援を実施し、個別支援計画に基づき男性4名・女性2名の利用者に対して延長支援を行った。延長支援時には、嚥下機能トレーニングを実施するなどの対応を行った。

(5) グループホームの運営拡大・充実

【地域生活総合支援センター】

4月より第2・3・8・9・10つながりの家で祝前日運営を開始したことにより、全てのグループホーム(第2～10つながりの家)で祝前日運営を行う体制となった。また、5月より第9つながりの家では日曜日朝までの運営拡大を行った。

3月には建て貸し方式による3つのグループホームを新築し、既存の男性グループホーム(第5・6・10つながりの家)の移転・転居を行った。

【平成30(2018)年度実施事業等】

1. 法人本部(総務課)

2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <指定管理>

- 【実施事業】①生活介護事業 定員 70名
②就労継続支援B型事業 定員 10名

3. わんすてっぷ

- 【実施事業】生活介護事業 定員 15名

4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園 <指定管理(④を除く)>

- 【実施事業】①園管理運営事業
②生活介護事業 定員 20名
③施設入浴サービス事業
④社会福祉増進事業

5. 地域生活総合支援センター

- 【実施事業】①共同生活援助事業
(第2つながりの家)
②短期入所・日中一時支援事業
(箕面市障害者ショートステイ室)
③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業
(ヘルパーステーション「ウイズ」)
④相談支援事業
(ウイズ)

2. 法人本部（総務課）

(1) 概要

- 次期指定管理者(平成31年度～)公募に応募したが、示された指定管理料と当福祉会が考える運営費用の開きが大きく、応募の取下げを行った。その後、箕面市の要請を受けて現指定管理期間を1年間延長することとなった。
- ささゆり園でも地区防災委員会との連携に取り組み、瀬川地区及びささゆり園ともに地区防災委員会と連携した全市一斉総合防災訓練を実施した。
- 給食提供体制について、9月より給食業者への委託を行うとともに、調理方式の変更を行い、運営管理や収支の改善等を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	会計事務チェック体制の継続	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26～29年度に引き続き、監査法人による「自主監査」(府社協実施事業)を受審した。 ○定期的に、税理士事務所による日常的な経理事務処理に関するチェックを受けた。
2	重度障害者のための生活介護事業所整備構想への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○箕面市の同構想に基づく整備が遅れており、情報収集の対応に留まった。
3	長期計画の実行	<ul style="list-style-type: none"> ○四半期ごとに長期計画プロジェクト会議を開催して、計画の進捗管理を行った。また、会議を通して取り組みの微調整を行いながら計画の実行に向けて取り組んだ。
4	指定管理施設の継続運営に向けた対応(箕面市立あかつき園・ワークセンター)(箕面市立障害者福祉センターささゆり園)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度からの次期指定管理者の公募に向けて、防災対応等事前に取り組み課題に挙げていた事項への取り組みを行った。 ○11月～12月の次期指定管理者(平成31～40年度)の公募に一旦応募したが、示された指定管理料と当福祉会が考える運営費用の開きが大きく、1月に応募の取下げを行った。 ○「箕面市立あかつき園・ワークセンター」「箕面市立障害者福祉センターささゆり園」ともに次期指定管理者が決定しなかったことを受けて、箕面市から現指定管理期間の1年間延長の要請があり、1年間の延長を行うこととした。
5	40周年記念イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○11月25日(日)に箕面市立メイプルホールにて40周年イベントを開催し、102名の参加者のもと、ミニコンサートや40年のあゆみのスライド上映、玉木幸則様による記念講演会(「障害のある人もない人も共に暮らせるまちづくり」)を行った。
6	防災・防犯対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○瀬川地区では前年度に引き続き「西南小地区防災委員会」と連携した全市一斉総合防災訓練(1月17日)を実施した。また、西南小学校と連携し、第1次避難所である西南小学校体育館まで一部利用者と一緒に避難する訓練を2回実施した。 ○ささゆり園では今年度より初めて「中小地区防災委員会」と連携した全市一斉総合防災訓練(1月17日)を実施した。
7	給食提供体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○運営管理や収支状況の改善、利用者・家族の要望、今後の食事提供体制のあり方についての検討を行った結果、9月より給食業者への委託に切り替えるとともに、クックチル方式から現場調理方式への変更及び瀬川地区で一括調理してささゆり園に瀬川地区から運搬する仕組みへの変更を行った。これら変更を行った結果、約30万円/月の経費削減となった。
8	職員確保	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネットを介した求人活動やハローワーク池田での介護職説明会への出展(2回)、就職フェアへの出展(2回)等により、正規職員2名・支援職員9名・臨時職員8名の採用を行った。
9	組織風土改善、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○人材育成プロジェクト会議を9回開催して「組織風土改善・人材育成プラン」に基づく取り組みの進捗管理を行った。 ○10月にチームビルディングをテーマにした正規職員研修会を、他法人(箕面市障害者事業団、社会福祉法人慶徳会)と合同で実施した。 ○職員の能力開発に活用するため、介護職員に求められるスキルを階層ごとに整理した「職業能力評価基準」を作成した。また、「職業能力評価基準」に基づく平成31年度からの運用に向けた事前準備・調整を行った。

10	虐待防止・サービス向上	<p>○虐待防止・サービス向上委員会を2回開催し、虐待防止及び提供するサービス向上に向けた取り組みに関する検討を行った。</p> <p>○虐待防止をテーマとした法人全体での人権研修を2回(10月・2月)に分けて実施した。</p> <p>○日頃の支援を客観的に振り返るセルフチェック(8月・2月)を2回実施するとともに、結果を集計してフィードバックを行った。</p> <p>○ヒヤリハット事例を多く拾い上げられるよう、ヒヤリハット報告書式の見直しを検討、試行的取り組みを行った。</p>
----	-------------	--

(3) 今後について

- 次期指定管理者の公募に向けて、今後の事業運営を見据えた検討を行い対応していく。
- 「重度障害者のための生活介護事業所整備構想(たたき台)」の進捗状況を確認しながら、新規施設の建設やあかつき園建て替え等に関する箕面市との協議・提言を行っていく。
- 職員確保・育成、虐待防止・サービス向上、防災等の課題に対して、引き続き計画に基づく進捗状況の確認、取り組みの随時修正・改善を行いながら取り組んでいく。

(4) 理事会・評議員会等開催状況

理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成30年 5月30日 案件 = 平成29(2017)年度決算 など ・第2回 平成30年 6月28日 案件 = 臨時職員就業規則一部改正 など ・第3回 平成30年 7月17日 案件 = 所属長の任命 ・第4回 平成30年 8月 8日 案件 = グループホーム建て貸しに関する賃貸借合意書の締結 など ・第5回 平成30年 9月21日 案件 = 就業規則の一部改正 など ・第6回 平成30年11月12日 案件 = グループホームのスプリンクラー設置工事 など ・第7回 平成30年12月10日 案件 = 次期指定管理者の応募 など ・第8回 平成30年12月28日 案件 = 次期指定管理者応募の取り下げ など ・第9回 平成31年 1月31日 案件 = 次期指定管理者公募に関する今後の対応 など ・第10回 平成31年 2月19日 案件 = 指定管理期間の延長 など ・第11回 平成31年 3月29日 案件 = 平成31(2019)年度事業計画及び予算 など
評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成30年 6月19日 案件 = 平成29(2017)年度決算 など
運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成30年 5月30日 案件 = 平成29(2017)年度決算など ・第2回 平成30年 9月19日 案件 = グループホームのスプリンクラー設置工事 など ・第3回 平成30年12月10日 案件 = 指定管理者の応募 など ・第4回 平成31年 3月25日 案件 = 平成31(2019)年度事業計画及び予算 など

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- 今年度も箕面市指定ごみ袋の製造作業が作業の中心であった。
- 多様な働く機会や社会生活に必要な経験を提供するため、箕面市障害者事業団の職場体験実習(花壇管理と植物リースに関わる作業)に3名(延べ38日間)が参加した。
- 利用者の移行に伴い、契約者数は2名減となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の移行に伴い契約者数は2名減となった。 ○相対的に利用率が低い利用者が移行となったため、平均利用率は前年度より0.4%上昇した。
2	効率的な送迎サービスの検討	<ul style="list-style-type: none"> ○箕面市立あかつき園・ワークセンターで送迎車両を1台増便して、送迎サービスを実施した。 ○利用者間の相性や利用者の障害特性に配慮しつつ、送迎ルートの見直しや1台あたりの送迎人数を増やすなどの対応を行った。
3	工賃拡大に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き箕面市指定ごみ袋の製造作業を中心に、定期的な清掃作業や農園作業に取り組んだ。 ○地震・台風等により開所状況が変動したこと、機械が故障したことなどの理由で引き続きごみ袋製造作業が中心となったこともあって、新たな作業の開拓までには至らなかった。
4	虐待防止・再発防止の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○10月と2月に法人全体で開催した人権研修に、箕面市立あかつき園・ワークセンターから各60名の職員が参加して、グループワークを通して虐待防止について考える機会を設けた。 ○日々の支援を振り返るための虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを8月と2月に実施した。
5	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○箕面市障害者事業団体験実習を実施し、花壇管理と植物リースに関わる作業に3名(延べ38日間)が参加した。
6	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、施設サポートサービス結果を踏まえた対応	<ul style="list-style-type: none"> ○西南小学校等6団体、延べ157名の見学を随時受入、来社者アンケートを7回実施した。 ○指定管理者アンケートにおいて改善意見が多かった給食のクックチル方式に関して、9月より給食業者への委託による現場調理方式での給食提供を再開し改善を行った。 ○チーム別懇談会について、就労継続支援B型事業では前年度に続き参加者がいなかった。そのため、今後は個別での懇談・見学等の機会を増やすこととした。 ○障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導(作業療法士2回/月、臨床発達心理師1回/月、嘱託医1回/月)を受けて、支援の随時改善等を行った。
7	職員育成	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者支援等に関する外部研修に延べ8名が参加した。 ○箕面市立あかつき園・ワークセンター内での内部学習会を13回実施して、職員の支援スキル向上を図った。 ○各職員と年1回以上の面談を行い、困りごとや躓いていることなどを、ともに解決していくよう努めた。

(3) 今後について

- 箕面市指定ごみ袋の製造及び配送作業、他事業所との作業シェアについて、引き続き関係団体とも調整しながら円滑に実施していく。
- 工賃拡大に向けて、引き続き新たな作業種の開拓等の検討を行っていく。
- 「重度障害者のための生活介護事業所整備構想(たたき台)」に基づく進捗状況を確認しながら、製袋事業の今後のあり方についても箕面市と協議を行っていく。

(4) 主な活動内容

① 生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成29年度	平成30年度
箕面市指定ごみ袋の生産	90,426,326円	94,976,756円
館内清掃	100,000円	100,000円
計	90,526,326円	95,076,756円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額（特別工賃を含んで換算）

	平成29年度	平成30年度	前年度比
就労継続支援B型	6,589円	12,643円	191.8%

② 施設外支援

実習先	参加人数(実数)	参加延べ日数	職種
箕面市障害者事業団	3名	38日	緑化部門(花壇管理等)/3名・38日

③ その他の活動

- 健康活動（ラジオ体操、ウォーキング、ダンス、体重測定等）
- 創作活動（ペーパークラフト、さをり織り、凧揚げ、福笑い等）
- 社会活動（買い物、公共交通機関の利用、所外活動等）

(5) 在籍者状況（平成31年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成30年度	7名	29.4歳	11.6年	92.0%	7.2名
平成29年度	9名	27.6歳	9.7年	91.6%	9.1名

平成30年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	5名	2名	0名	0名

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <生活介護事業>

(1) 概要

- さをり製品について、幅広い年代向けに商品を14種類増やしたことにより売上は前年度より8万8千円(38%)増加した。
- 前年度に作成した全利用者分「利用者支援概要シート」の更新を行い、利用者状況の変化や支援の変更内容を職員間で共有した。
- 体調不良や入院を未然に防ぐことを目的として、看護師による医療的ケアの実施について、適宜対象者を拡大し対応した。
- 新規利用に伴い契約者は2名増となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規利用に伴い契約者は2名増となった。 ○ 上半期の利用率は0.1%増であったが、下半期には3名の利用者が体調を崩されるなどして長期欠席が続いたため、年間での利用率は前年度より0.4%低下した。
2	効率的な送迎サービスの検討	<ul style="list-style-type: none"> ○ 箕面市立あかつき園・ワークセンターで送迎車両を1台増便して、送迎サービスを実施した。 ○ 利用者間の相性や利用者の障害特性に配慮しつつ、送迎ルートの見直しや1台あたりの送迎人数を増やすなどの対応を行った。
3	工賃拡大に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ さをり製品について、幅広い年代向けに商品を14種類増やしたことにより、売上は前年度より8万8千円(38%)増加した。 ○ 当面、実施している作業(さをり・農園・ペットボトル分別・空き缶リサイクル)の安定的な継続を目指し、その他の作業種の開拓までは行わなかった。
4	虐待防止・再発防止の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月と2月に法人全体で開催した人権研修に、箕面市立あかつき園・ワークセンターから各60名の職員が参加して、グループワークを通して虐待防止について考える機会を設けた。 ○ 日々の支援の振り返りを行うための虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを8月と2月に実施した。
5	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、大阪社福士会施設サポートサービス結果を踏まえた対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西南小学校等6団体、延べ157名の見学を随時受入、来社者アンケートを7回実施した。 ○ 指定管理者アンケートにおいて改善意見が多かった給食のクックチル方式に関して、9月より給食業者への委託による現場調理方式での給食提供を再開し改善を行った。 ○ 家族参加型のイベントや見学会と合わせてチーム別懇談会を2回実施し、日中活動の様子を見てもらう機会を設けた。 ○ 障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導(作業療法士2回/月、臨床発達心理師1回/月、嘱託医1回/月)を受けて、支援の随時改善等を行った。
6	介護技術の標準化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度に作成した全利用者分「利用者支援概要シート」の更新(個別支援計画に基づく支援の要点など)を行い、利用者状況の変化や支援の変更内容を職員間で共有した。
7	医療的ケアへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護師による医療的ケアの実施について、体調不良や入院を未然に防ぐことを目的として、適宜対象者を拡大対応した(2名)。
8	職員確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者支援、チームマネジメント、業務管理、リスクマネジメント等に関する外部研修12講座に延べ26名が参加した。 ○ 箕面市立あかつき園・ワークセンター内での内部学習会を13回実施して、職員の支援スキル向上を図った。 ○ 各職員と年1回以上の面談を行い、困りごとや躓いていることなどを、ともに解決していくよう努めた。

(3) 今後について

- 発達障害など特段の支援を要する利用者及び利用者の相互関係に配慮したチーム編成と支援体制等を検討・実施していく。
- 箕面森町を含む箕面市全域を対象とした効率的な送迎サービスについて検討・実施していく。

(4) 主な活動内容

① 生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成29年度	平成30年度
箕面市指定ごみ袋の生産	3,900,000円	4,080,000円
さをり製品等製造販売	228,894円	317,620円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	161,771円	118,091円
農園芸	553,503円	605,301円
館内清掃	400,000円	400,000円
計	5,244,168円	5,521,012円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃(特別工賃を含んで換算)

平成29年度	平成30年度	対前年度比
1,642円	3,522円	214.4%

② その他の活動

- 健康活動 (機能維持訓練、ダンス、プール、ウォーキング等)
- 生産活動 (館内・館外清掃等)
- 日常生活・社会適応訓練 (図書館利用、買い物、調理、喫茶、外食等)
- 創作活動 (書道、手芸、季節の壁面飾り等)
- 文化活動 (音楽療法、音楽活動、音楽・DVD鑑賞、演劇等)
- 社会活動 (古切手の切り取り等)

(5) 在籍者状況 (平成31年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成30年度	69名	29.2歳	10.6年	92.2%	63.7名
平成29年度	67名	28.7歳	10.1年	92.6%	62.1名

平成30年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	38名	21名	10名	0名	0名	0名

4. わんすてっぷ<生活介護事業>

(1) 概要

- 利用者の障害程度が年々重度化しており、障害支援区分5・6の利用者が契約利用者数のうち約67%（延べ利用人数割合約72%）であった。障害程度の重度化に伴って、排泄・口腔内衛生・身体介護など従来と比べて手厚い介護が必要となった利用者に対しては、複数職員で対応するなど状況に応じた支援を行った。
- 入院や家庭環境の変化、介護保険サービスへの変更に伴う長期欠席の利用者がいたことから、平均利用人数は前年度（12.4名/日）より減少して11.8名であった。介護給付費収入は、重度送迎体制加算の対象となったこともあり、前年度より微増（約30万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	事業の将来像の明確化 （法人独自事業としての安定経営）	○入院や家庭環境の変化、介護保険サービスへの変更に伴う長期欠席の利用者がいたことから、平均利用人数は前年度（12.4名/日）より減少し、11.8名であった。介護給付費収入は、重度送迎体制加算の対象となったこともあり、前年度より微増（約30万円）となった。 ○箕面市における「重度障害者のための生活介護事業所整備構想（たたき台）」との関係、また職員欠員に伴う現場対応のため、将来像の明確な提案にまでには至らなかった。
2	個別支援計画に基づく支援の実施	○介護の度合いが増した利用者の実態、虐待防止の観点や支援要点を明確にした計画を作成し、計画に基づく支援を実施した。
3	適切なサービス提供	○利用者の障害程度が年々重度化しており、障害支援区分5・6の利用者が契約利用者数のうち約67%（延べ利用人数割合約72%）であった。障害程度の重度化に伴って、排泄・口腔内衛生・身体介護など、従来と比べて手厚い介護が必要となってきている利用者に対しては、複数職員で対応するなど状況に応じた支援を行った。 ○健康診断（年1回）や体重測定、看護師による健康確認・衛生管理を実施した。 ○状態の変化が大きい利用者に対しては、状況を職員間で共有または複数職員で対応を行うなどして支援を行った。
4	サービス等利用計画作成事業者等（介護保険事業者含む）との連携	○グループホームの不安定な利用、独居形態、排泄支援の方法、家庭環境の変化、健康状態などについて、事業者と情報提供・意見交換を行いながら、支援にあたり対応した。 ○利用者の状態変化について、後見人への情報提供や介護保険サービスの利用に関する事業者との意見交換を行った。
5	職員確保・育成	○生活支援員の欠員が継続したため、必要に応じ他部署より応援職員を配置して対応した。 ○新規配属職員について、OJTを通して育成に取り組んだ。

(3) 今後について

- 利用者の実態等に合ったサービス提供内容への見直しを検討・実施していく。
- 利用者の健康維持に向けたサービス提供を進めていく。
- 計画相談事業者との連携を引き続き密に図っていく。
- 現状の課題や対象利用者等についての整理を行い、今後の事業のあり方を検討していく。

(4) 主な活動内容

- ①創作活動（手芸、クロスステッチ、編み物、折り紙、塗り絵、絵画等）
- ②文化活動（買い物、音楽鑑賞、カラオケ、ウィー、オセロ等）
- ③健康活動（健康診断、体重測定、ストレッチ、ウォーキング、筋力トレーニング、健康観察、血圧・脈拍測定等）
- ④心身を整えるための活動（手浴・足浴、爪切り、リラックス、アロマセラピー等）
- ⑤専門職による相談・指導（作業療法士・嘱託医への相談、看護師による足爪切り、ダンス指導等）
- ⑥所外活動（万博記念公園、イオンモール、服部緑地公園等）
- ⑦イベント（流しそうめん、かき氷、演奏会、クリスマスイベント等）
- ⑧生産活動

(5) 在籍者状況（平成31年3月31日現在）

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成29年度	平成30年度	対前年度比
さをり製品等の制作・販売	480円	480円	100.0%
チラシ配布委託業務	57,298円	21,435円	37.4%
計	57,778円	21,915円	37.9%

イ) 利用者1人あたりの年額平均工賃

平成29年度	平成30年度	対前年度比
4,228円	1,939円	45.8%

ウ) 在籍者状況

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
平成30年度	15名	53.5歳	14.7年	78.72%	11.8名	
平成29年度	15名	52.5歳	13.7年	82.35%	12.4名	
平成30年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	3名	7名	4名	1名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<園管理運営事業>

(1) 概要

- 以前から懸案となっていた身体障害者専用駐車場について1台分を設置した。
- 3月8日に「共生社会実現のツールとしての障害者差別解消法～インクルーシブ社会の実現～」と題し、DPI日本会議 尾上浩二副議長を招いての講演会「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。市民講座には計42名の参加があった。
- 箕面保育園の年長園児24名及び職員3名の計27名を招き、障害者やバリアフリーについて考えてもらうためのリフト車両の見学会を昨年度に引き続き実施した。その後、生活介護事業の利用者ととともに餅つき大会を開催し、利用者から園児へのプレゼント配布や合唱などを実施した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	既存8事業見直し協議・対応	○ささゆり園内部の協議に留まり、箕面市との具体的な協議までには至らなかった。
2	施設利用基準のあり方を検討・協議	○以前から懸案となっていた身体障害者専用駐車場について1台分を設置した。 ○多様な目的での施設利用が増えているため、利用を許可する要件である「福祉活動への利益供与」の基準について箕面市に確認を行ったが、明確な基準はないため今後の検討課題となった。
3	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	○3月8日に「共生社会実現のツールとしての障害者差別解消法～インクルーシブ社会の実現～」と題し、DPI日本会議 尾上浩二副議長を招いての講演会「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。市民講座には計42名の参加があった。 ○箕面保育園の年長組園児24名及び職員3名の計27名を招き、障害者やバリアフリーについて考えてもらうためのリフト車両の見学会を昨年度に引き続き12月に実施した。その後、生活介護事業の利用者ととともに餅つき大会を開催し、利用者から園児へのプレゼント配布や合唱などを実施した。 ○箕面市及び箕面市社会福祉協議会との共催事業として、要約筆記講習会(2コース：手書きコース、パソコンコース)を延べ9回開催し、受講者13名が修了された。

(3) 今後について

- 障害者社会参加事業(茶道教室・華道教室)やボランティア育成事業等(手話講座、音訳講習会、要約筆記講習会)について、より参加者を増やしていくための募集方法等を検討し、事業の充実を図っていく。
- 施設老朽化への対応について、箕面市と協議しながら改修等の対応を図っていく。

(4) ささゆり園利用状況

	平成29年度	平成30年度	対前年度比
開館日数	321日	317日	98.8%
利用件数	1,771件	1,662件	93.8%
利用件数/1日	5.5件	5.2件	94.5%
利用者数	22,753名	22,194名	97.5%
利用者数/1件	12.8名	13.4名	104.7%
利用者数/1日	70.9名	70.0名	98.7%

事業名	平成29年度		平成30年度		対前年度比 (人数比)	
	件数	人数	件数	人数		
障害者社会参加促進事業	40	344	41	345	100.3%	
[内訳]	①茶道教室	20	213	22	205	96.2%
	②華道教室	20	131	19	140	106.9%
ボランティア育成事業	54	661	56	758	114.7%	
[内訳]	①手話講習会「入門・基礎課程」	35	403	36	480	119.1%
	②初級音訳講習会<中級>	11	98	11	83	84.7%
	③要約筆記講習会	8	160	9	195	121.9%
啓発事業(障害者問題市民講座)	1	52	1	42	80.7%	
貸館事業	1,676	21,696	1,564	21,049	97.0%	
[内訳]	①障害者団体	737	11,584	711	12,248	105.7%
	②ボランティアサークル	502	5,249	467	4,895	73.3%
	③外郭・行政関係	176	3,226	141	2,327	72.1%
	④その他	231	1,605	213	1,547	96.4%
	⑤IT室	30	32	32	32	100.0%
合計	1,771	22,753	1,662	22,194	97.5%	

※会議室等使用団体数(平成31年3月31日現在)

- ・定期利用団体：37団体(対前年度比 1増)
- ・随時利用団体：32団体(対前年度比 2減)
- 【合計】69団体(対前年度比 1減)

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<生活介護事業>

(1) 概要

- 5月より生活介護の延長支援を実施し、個別支援計画に基づき男性4名、女性2名の利用者に対して延長支援を提供した。延長支援時には、嚥下機能トレーニングを実施するなどの対応を行った。
- この間継続実施している宿泊旅行について、今年度は和歌山マリーナシティへの旅行を実施した。宿泊旅行以外のグループには琵琶湖博物館や東映太秦映画村への日帰り旅行等を実施した。
- より多くの利用者に医療的ケアを実施するため、生活介護や添乗職員への喀痰吸引研修(実地研修)を4~8月にかけて実施し、延べ29名が受講した。今年度は利用者10名に対し41行為の医療的ケアを実施した。
- 新規利用に伴い契約者は2名増となった。入院加療等の利用者が多数おられたが、利用率は昨年度より2.4%向上し介護給付費は前年度より約800万円の増収となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	介護給付費収入の安定的確保	○新規利用に伴い契約者は2名増となった。 ○入院加療等の利用者が多数おられたが、利用率は昨年度より2.4%向上し介護給付費は前年度より約800万円の増収となった。
2	新規利用者への対応	○利用前の特別支援学校との引き継ぎや利用開始後の家庭訪問などを実施して、利用者の状況や意向を確認しながら支援・活動の充実を図った。 ○1名の新規利用者は10月から3月まで体調不良や胃ろう造設手術により入院が続いたが、その間退院に向けたケースカンファレンスに2回参加し、退院後の再利用に向けた対応を行った。
3	延長支援の実施	○5月より生活介護の延長支援を実施し、個別支援計画に基づき男性4名・女性2名の利用者へ延長支援を提供した。延長支援時には、嚥下機能トレーニングを実施するなどの対応を行った。
4	多様な活動支援の検討・実施	○この間継続実施している宿泊旅行について、今年度は和歌山マリーナシティへの旅行を実施した。宿泊旅行以外のグループには琵琶湖博物館・東映太秦映画村への日帰り旅行等を実施した。
5	入浴支援体制の見直し	○日中活動に重点を置き入浴サービス開始時間等を随時調整した。 ○週2回勤務の短時間従事者1名(女性)を確保し、入浴支援専属とすることで、日中活動の人員確保を行った。
6	介護職による喀痰吸引等の実施	○新規利用者を含めてより多くの利用者に医療的ケアを実施するため、生活介護や添乗職員への喀痰吸引研修(実地研修)を4~8月にかけて実施し、延べ29名が受講した。 ○今年度は利用者10名に対し41行為の医療的ケアを実施した。
7	重度重複障害者の地域生活に係る調査研究	○「北摂重症心身障害児拠点施設を作る会」に参加するなど、重度障害者の地域生活に関する情報収集や意見交換を行った。
8	医療的ケアの必要な利用者の地域生活支援検討	○対象利用者の体調不良等により、試行的ショートステイ利用は実施できなかった。
9	指定管理者アンケート結果を踏まえた対応	○連絡帳の活用や電話等で家族への様々な情報提供を行った。 ○5月にバーベキューや3月に年度末イベントなどの家族参加行事を開催し、家族に日中活動の様子を見てもらう機会を設けた。 ○障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導(作業療法士2回/月、嘱託医1回/月)を受けて、支援の随時改善等を行った。
10	感染症対策	○今年度も感染制御ラウンド(実地指導)及び感染症防止研修会を8月に開催して12名の職員が受講し、感染症防止知識の向上及び設備改善・環境整備などハード面の改善を行った。

11	職員確保	○引き続き、運転手・添乗職員の確保が困難な状況が継続した。 ○常勤の看護師を1名確保し、医療的な支援体制の充実を行った。
12	介護技術の標準化への対応	○利用者個別の医療的ケアマニュアルや処置マニュアルについて、主治医の指示書や利用者の状況に応じた修正を行った。
13	腰痛予防対策	○12月に作業療法士による腰痛予防研修を開催し、職員12名が参加した。
14	地域への情報発信、交流	○ブログの更新（計13回）やささゆり園だよりの作成・配布（1回）を行った。 ○12月に餅つき大会を開催し、箕面保育園の年長組園児24名及び職員3名の計27名と交流を行った。 ○3月に箕面第二中学校ブラスバンド部によるコンサートを開催してもらい、交流を行った。

(3) 今後について

- 定員以上の利用契約者を引き続き確保するとともに、利用者・家族の介護力維持のため、社会資源の活用等を提案していく。
- 医療的ケアが増加しており、看護師を確保し医療的ケア体制を充実させていく。
- 引き続き感染制御ラウンド（実地指導）及び感染症防止研修会を実施し、感染症対策を充実させていく。
- 利用者・家族の高齢化が進むなか、利用者が地域で安定した生活が送れるよう相談支援事業所等との連携を強化し、支援ネットワークの構築に取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

- ①健康活動（バイタルチェック、ストレッチ、手浴・足浴等）
- ②機能訓練（作業療法士による訓練指導、エクササイズ等）
- ③創作活動（季節を感じる創作、さをり織り、組紐等）
- ④園外活動（買い物、図書館、ドライブ、大学学園祭等）
- ⑤音楽活動（音楽鑑賞、カラオケ、楽器演奏、中学校吹奏楽部演奏会等）
- ⑥ゲーム活動（ポッチャ、ボーリング、時限爆弾ゲーム等）
- ⑦イベント（宿泊旅行、日帰旅行、バーベキュー大会、年度末イベント等）

(5) 医療的ケア実施状況

内 容		人数	内 容		人数
たんの吸引	口腔内	10名	経管による与薬	胃ろう	1名
	鼻腔内	4名		腸ろう	2名
	気管カニューレ内部	6名		経鼻胃管	3名
経管栄養	胃ろう	4名	吸入	1名	
	腸ろう	2名	ブジー	1名	
	経鼻胃管	3名	酸素投与（緊急時含む）	3名	
			人工呼吸器管理	2名	
			合 計（延べ人数）	42名	

(6) 在籍者状況（平成31年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成30年度	22名	41.5歳	10.2年	85.5%	16.3名
平成29年度	20名	42.8歳	10.7年	83.1%	15.3名

平成30年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	19名	3名	0名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<施設入浴サービス事業>

(1) 概要

- 機械浴槽2台のうち平成29年度末に1台を交換したが、もう1台も導入後10年以上が経過し老朽化が著しいため、箕面市と協議し交換することが決定した。
- 今年度当初の利用契約者は13名であったが、1名の方が3月より自宅での訪問入浴サービスの利用を開始され利用契約が解除となったため、年度末時点での利用契約者は12名であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	事業の方向性を協議	○在宅入浴支援の充実等について箕面市と協議を行った。 ○機械浴槽2台のうち平成29年度末に1台を交換したが、もう1台も導入後10年以上が経過し老朽化が著しいため、箕面市と協議し交換することが決定した。
2	新規利用者の募集、確保	○今年度当初の利用契約者数は13名であったが、1名の方が3月より自宅での訪問入浴サービスを開始し利用契約を解除となったため、年度末時点での利用契約者数は12名であった。 ○原則、在宅での入浴支援（ヘルパー利用、移動入浴等）の利用を勧める対応を行った。
3	サービスの質的向上	○入浴ヘルパーについて、女性は3名確保できているが、3名で対応できない利用者には生活介護事業の職員で対応した。
4	職員確保と支援サービスの質的向上	○男性については引き続きヘルパー確保ができない状況が継続したため、全ての利用者に生活介護事業の職員が対応した。

(3) 今後について

- 引き続き登録ヘルパーの確保に取り組んでいく。あわせて登録ヘルパーに依存しない体制での事業実施も検討していく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	平成29年度	平成30年度	対前年度比
実施日数	244日	243日	99.6%
利用者数	653名	642名	98.3%
利用者数/1日	2.7名	2.6名	96.3%

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<社会福祉増進事業>

(1) 概要

- 大阪府登録喫煙吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
- 平成30年度の修了者数は、延べ33名であった。

6. 地域生活総合支援センター〈共同生活援助事業〉

(1) 概要

- 4月より第2・3・8・9・10つながりの家で祝前日運営、5月より第9つながりの家で日曜日朝までの運営拡大を行い、利用率の向上を図った。
- 3月に建て貸し方式により新築で3グループホームを建設し、既存の男性用3グループホーム（第5・6・10つながりの家）の移転・転居を行った。
- 10月に第10つながりの家に1名補充し定員は満員となっていたが、3月に第7つながりの家の利用者が逝去されたため、年度末で1名の欠員であった。
- 成年後見制度の利用者増には至らなかったが、2月に成年後見制度の講演会を主催・実施した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上に向けた取り組み	○利用率の低い(利用率70%未満)利用者3名に向けて、個別の利用促進の提案を行ったが利用率増には繋がらなかった。 ○4月より第2・3・8・9・10つながりの家で祝前日運営、5月より第9つながりの家で日曜日朝までの運営拡大を行い、利用率の向上を図った。
2	GH整備計画の検討	○整備計画の作成までには至らなかったが、3月に建て貸し方式により新築で3グループホームを建設し、既存の男性用3グループホーム（第5・6・10つながりの家）の移転・転居を行った。
3	入居者の高齢化・重度化への対応	○引き続きこれまで家族が担っていた通院を通院等介助に移行し、ヘルパー対応にシフトした。 (28年度8名→29年度17名→平成30年度20名) ○成年後見制度の利用者増には至らなかったが、2月に成年後見制度の講演会を主催・実施した。
4	余暇支援の充実	○余暇活動計画や個別支援計画に基づき移動支援を活用した。 (移動支援ヘルパー派遣要請182回中173回派遣) ○グループホームごとの余暇支援を年1回以上(バスツアー・ボウリング・伊丹空港など)、個別の余暇支援を個別支援計画に基づき適宜実施した。
5	消防法への対応	○3月までに第7・9つながりの家にスプリンクラーを設置した。
6	GH移転の検討	○3月に建て貸し方式により新築で3グループホームを建設し、既存の男性用3グループホーム（第5・6・10つながりの家）の移転・転居を行った。
7	欠員補充への対応	○10月に第10つながりの家に1名補充し定員は満員となっていたが、3月に第7つながりの家の利用者が逝去されたため、年度末で1名の欠員であった。
8	職員確保・育成	○職員確保が困難な状況は継続し、365日運営を進めていくための計画的な人員確保までには至らなかった。 ○世話人会議の場を利用して、部門内研修会を7回実施した。
9	サビ管と世話人の連携強化	○前年度に続き、サービス管理責任者の月1回以上のグループホーム訪問や電話やメールでの連絡を継続して実施した。

(3) 今後について

- 建て貸し方式により建設した3グループホームの安定運営に引き続き取り組んでいく。
- 365日運営に向けた支援体制等の整備を検討・実施していくとともに、グループホームの将来構想を検討していく。
- 利用者・家族の高齢化に伴い、状況に応じたサービスへと繋げていくとともに、相談支援事業所や後見人等と情報を共有しながら、連携を図っていく。

(4) 在籍者状況（平成31年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
平成30年度	35名	47.0歳	81.6%	29.0人
平成29年度	35名	46.1歳	80.8%	28.4人

平成30年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	5名	13名	8名	6名	3名	0名

6. 地域生活総合支援センター〈短期入所・日中一時支援事業〉

(1) 概要

- 月別に担当職員を割り当て、月1回、季節に応じた創作活動・余暇活動（40周年記念制作のケーキ、月見、バーベキューなど）を土曜日または日曜日の活動として提供した。
- 体験利用の斡旋・調整を年間通じて行ったが、社会的理由による長期利用者が2名いたため、前年度より1日あたり宿泊者数は微増したが延べ利用者数は152名減少した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用者支援体制の強化	○利用状況に応じて、支援が集中する時間帯（7～9時・16～19時）の職員配置やサポート体制を厚くするなどの対応を行った。
2	利用者増に向けた取り組み	○体験利用の斡旋・調整を年間通じて行ったが、社会的理由による長期利用者が2名いたため、前年度より1日あたり宿泊者数は微増したが延べ利用者数は152名減少した。
3	活動内容の充実	○月別に担当職員を割り当て、月1回、季節に応じた創作活動・余暇活動（40周年記念制作のケーキ、月見、バーベキューなど）を土曜日または日曜日の活動として提供した。
4	医療的ケアの必要な方の試行的受入	○対象利用者の体調不良等により、試行的ショートステイ受入は実施できなかった。
5	職員確保・育成	○男性職員2名を採用した。しかし、引き続き一部勤務は他部署職員の応援勤務で対応した。 ○登録ヘルパー4名を採用した。OJTによる育成に取り組むとともに、ヘルパー向け研修会を2回開催（延べ27名参加）して定着を図った。

(3) 今後について

- 今後の事業運営のあり方について、関係者・関係機関との協議のうえ、検討・実施していく。

(4) ショートステイ室利用状況

	平成29年度	平成30年度	対前年度比
1日あたり宿泊者数	5.22名	5.25名	100.5%
延べ利用者数 (1日平均)	3,264名 (8.9名)	3,112名 (8.5名)	95.3%
短期入所延べ利用者数 (1日平均)	3,029名 (8.3名)	2,887名 (7.9名)	95.3%
日中一時延べ利用者数 (1日平均)	235名 (0.6名)	225名 (0.6名)	95.7%

6. 地域生活総合支援センター

＜居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業＞

(1) 概要

- 通院等介助の利用者が前年度より4名増となったこともあり、居宅介護の総派遣時間は前年度より785.5時間増加した。
- グループホームの余暇活動計画や個別支援計画に基づき、ヘルパーを派遣した。特に365日運営となったグループホーム利用者に対するサービス充足に取り組んだ（移動支援ヘルパー派遣要請182回中173回派遣）。しかし、天候不良やヘルパー不足のため、移動支援の総派遣時間は前年度より85.5時間減少した。
- 登録ヘルパー育成のため、登録ヘルパー対象の研修会を2回(救命講習、口腔ケア)実施し、計27名が参加した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	GHにおける余暇支援の充実（移動支援の拡大）	<ul style="list-style-type: none"> ○グループホームの余暇活動計画や個別支援計画に基づき、ヘルパーを派遣した。特に365日運営となったグループホーム利用者に対するサービス充足に取り組んだ。 (移動支援ヘルパー派遣要請182回中173回派遣) ○天候不良やヘルパー不足のため、移動支援の総派遣時間は前年度より85.5時間減少した。
2	GHにおける居宅介護・通院等介助の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○家族やグループホーム担当者、計画相談担当者との連携を図りながらニーズの把握に努め、居宅介護(7名)、通院等介助(17名)等のサービス提供を行った。 ○通院等介助の利用者が前年度より4名増となったこともあり、居宅介護の総派遣時間は前年度より785.5時間増加した。
3	有資格従事者の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○募集チラシを作成し、箕面駅、瀬川周辺でティッシュ・チラシを配布するとともに、法人掲示板にチラシを掲示した結果、登録ヘルパーを6名(うち有資格者2名)を確保した。 ○無資格の臨時職員に対し、介護職員初任者研修の受講情報を提供するなどして、有資格の臨時職員が1名増加した。 ○ヘルパー養成学校実習生の受け入れを2名行ったが、ヘルパー登録には至らなかった。 ○登録ヘルパー対象の研修会を2回(救命講習、口腔ケア)実施し、計27名が参加した。

(3) 今後について

- グループホームの運営日を増やしていくにあたり、入居者の週末余暇支援の充実を引き続き検討・実施していく。
- 居宅介護や移動支援におけるニーズへ対応するため、登録ヘルパーの確保及び派遣先拡大等の対応を引き続き図っていく。

(4) ヘルパー派遣状況（平成31年3月31日現在）

単位：時間

	居宅介護					移動支援	
	通院等介助		同行援護	身体介護	家事援助	I類	II類
	(身体介護なし)	(身体介護あり)				(身体介護なし)	(身体介護あり)
平成30年度	7.0	342.0	205.0	2,115.5	0.0	1,451.0	1,024.0
平成29年度	39.5	258.5	244.5	1,339.0	2.5	1,301.5	1,259.0

6. 地域生活総合支援センター〈相談支援事業〉

(1) 概要

- 福祉サービスの利用、健康・医療に関する相談を含め1,063件の相談に対応した。(前年度より91件増)
- 昨年度に引き続き、2名体制で契約利用者109名に対して継続的な支援を行った。
- 前年度末に事業継続が困難となった他相談支援事業所の事後処理担当者と連携を図り、同事業所が抱えていたケースに関する受け入れ先調整を行った。
- 現契約者への対応状況や職員配置体制をふまえ、障害児の事業者指定申請に関しては今年度は見送った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	計画相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉サービスの利用、健康・医療に関する相談を含め1,063件の相談に対応した。(前年度より91件増) ○昨年度に引き続き、2名体制で契約利用者109名に対して継続的な支援を行った。 ○前年度末に事業継続が困難となった他相談支援事業所の事後処理担当者と連携を図り、同事業所が抱えていたケースに関する受け入れ先調整を行った。 ○現契約者への対応状況や職員配置体制をふまえ、障害児の事業者指定申請に関しては今年度は見送った。
2	相談支援の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ○箕面市障害者自立支援協議会(相談支援部会)が開催した2回(7月・1月)のケース検討会に参加した。 ○各ケースの担当者会議、他相談支援事業所と電話等での情報共有を図り、連携に取り組んだ。
3	困難事例への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○医療・福祉サービスの利用に関して、訪問や同行等を行い、制度の説明からサービス利用に繋げていけるよう対応を行った。 ○虐待事例に関して、家族間の様子を確認するとともに、距離感を適度に保つための機会を持てるよう調整を行った。 ○家族の高齢化・入院等に伴い、家族に代わって関係機関と調整を図るケースが増加しており、家族へのサポートも含め継続的な対応を行った。
4	相談支援専門員の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○相談支援専門員資格に係る「現任者研修」を1名の職員が受講・更新した。 ○職員のスキルアップを図るため、スーパーバイザー実践講座に1名が参加した。

(3) 今後について

- 家族の高齢化・入院、家族関係等に伴い、家族に代わってのサービス利用調整や関係者間での連絡・調整が必要なケースについて、引き続き対応していく。
- 困難事例への対応については、相談支援部会における事例検討会にて報告を行い、共有化を図るとともに、今後について検討を行っていく。

(4) 相談状況（平成31年3月31日現在）

①相談経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	6(0)	115(0)	189(0)	19(0)	329(0)
来所	0(0)	54(0)	77(1)	12(0)	143(1)
同行	0(0)	21(0)	30(0)	19(0)	70(0)
電話	4(0)	190(0)	270(1)	26(0)	490(1)
電子メール	0(0)	1(0)	2(0)	0(0)	3(0)
個別支援会議	0(0)	8(0)	10(0)	1(0)	19(0)
関係機関	0(0)	0(0)	4(0)	0(0)	4(0)
その他	0(0)	1(0)	3(0)	1(0)	5(0)
合計	10(0)	390(0)	585(2)	78(0)	1,063(2)

※括弧内は児童の相談件数

②相談内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	8(0)	269(0)	425(2)	26(0)	728(2)
健康・医療	1(0)	52(0)	51(0)	21(0)	125(0)
不安解消・情緒安定	0(0)	3(0)	25(0)	6(0)	34(0)
家族関係・人間関係	1(0)	18(0)	16(0)	7(0)	42(0)
家計・経済	0(0)	0(0)	6(0)	10(0)	16(0)
生活技術	0(0)	18(0)	7(0)	0(0)	25(0)
就労	0(0)	3(0)	10(0)	1(0)	14(0)
社会参加・余暇活動	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
権利擁護	0(0)	2(0)	9(0)	0(0)	11(0)
障害・病状の理解	0(0)	22(0)	33(0)	6(0)	61(0)
その他	0(0)	1(0)	3(0)	1(0)	5(0)
合計	10(0)	390(0)	585(2)	78(0)	1,063(2)

※括弧内は児童の相談件数

7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

(1) 苦情解決システムに基づく対応

平成30年度は、苦情解決システムに基づき対応した事案はなかった。

(2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	あかつき園・ワークセンターささゆり	3件	内容 与薬忘れ、誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
	わんすてっぷ	4件	内容 与薬忘れ、異物摂食(推測) 原因 確認不足	与薬確認の徹底 確認方法の見直し
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	5件	内容 与薬忘れ、誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
合計件数		12件		

怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	10件	内容 打撲、裂傷、擦過傷 原因 職員の不注意、利用者の状態把握不足、環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	わんすてっぷ	1件	内容 衝突による転倒 原因 職員の不注意	安全配慮の徹底
	ささゆり園	2件	内容 擦過傷、打撲 原因 職員の不注意 利用者の状態把握不足	安全配慮の徹底
	地域生活総合支援センター	2件	内容 打撲、裂傷 原因 職員の不注意	安全配慮の徹底 環境整備
合計件数		15件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	6件 (うち、職員に対するもの3件)	内容 裂傷・引っ掻き・殴打等 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	1件	内容 引っ掻き 原因 利用者の状態把握不足	安全配慮の徹底 障害特性に関する支援スキルの向上
合計件数		7件		

自傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	0件		
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		0件		

器物損壊	あかつき園・ワークセンターささゆり	2件	内容 備品・設備の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	1件	内容 備品の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 障害特性に関する支援スキルの向上
合計件数		3件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
無断外出	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 一時的な所外への無断外出 原因 利用者の所在確認不足	利用者の心的状態の適切な把握
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	4件	内容 一時的な所外への無断外出 原因 利用者の状態把握不足 アラームの故障	利用者の心的状態の適切な把握 環境整備
合計件数		5件		

車両事故	あかつき園・ワークセンターささゆり	7件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	5件	内容 対物・対人接触、当て逃げ 被害 原因 確認不足	安全運転の徹底
	地域生活総合支援センター	2件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
合計件数		14件		

その他	(あかつき園・ワークセンターささゆり)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察への不審者通報 1件 ・ 給食異物混入 3件 ・ 利用者の非常ベル誤操作 18件 			
その他	(わんすてっぷ)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誤送迎 1件 			
その他	(ささゆり園)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食異物混入 1件 			
その他	(地域生活総合支援センター)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処方薬の受け取り忘れ 1件 ・ 物品紛失 2件 			

② 苦情

部署	件数	内容	原因	解決状況
あかつき園・ワークセンターささゆり	0件			
わんすてっぴ	1件	検尿用具の受け渡しに関するもの	配慮不足	新たな検尿用具の受け渡し
ささゆり園	0件			
地域生活総合支援センター	3件	利用受付に関するもの 契約に関するもの 利用者対応に関するもの	認識不足 担当者変更に伴う引継不足 配慮不足	利用受付時間の徹底 引継徹底の依頼 業務マニュアル化と適切な業務指示
合計件数	4件			

③ ヒヤリハット

部署	件数	内容
あかつき園・ワークセンターささゆり	198件	<ul style="list-style-type: none"> * 怪我する恐れがあった事案 119件 * 転倒・転落の恐れがあった事案 41件 * 行方不明に繋がる恐れがあった事案 14件 * 器物破損の恐れがあった事案 12件 * 誤飲・誤食に繋がる恐れがあった事案 5件 * 医療的ケアミスに繋がる恐れがあった事案 3件 * 服薬忘れに繋がる恐れがあった事案 2件 * 走行車両に対して迷惑行為に繋がる恐れがあった事案 1件 * 脱水症状に繋がる恐れのあった事案 1件
わんすてっぴ	7件	<ul style="list-style-type: none"> * 怪我する恐れがあった事案 2件 * 他害行為に至る恐れがあった事案 5件
ささゆり園	4件	<ul style="list-style-type: none"> * 怪我する恐れがあった事案 4件
地域生活総合支援センター	8件	<ul style="list-style-type: none"> * 利用キャンセルの記載忘れに至る恐れがあった事案 2件 * 小口現金帳の金額に誤差が生じる恐れがあった事案 2件 * 誤薬に繋がる恐れがあった事案 1件 * 服薬忘れに繋がる恐れがあった事案 1件 * 他害行為に至る恐れがあった事案 1件 * 怪我する恐れがあった事案 1件
合計件数	217件	

※あかつき園・ワークセンターささゆりでは、年度途中に、ヒヤリハット報告が上げやすい書式に変更する試行的取り組みを行ったため件数が増えている。同様の書式変更は他事業所でも平成31年度に実施予定。

8. 地域参加・交流状況

(1) 納涼祭 (主催：あかつき福祉会)

実施日： 8月17日 (金)
実施場所： 瀬川地区敷地内
参加者数： 421名
協力団体： 7団体
利用者参加： 44名
職員従事者： 46名
内 容： 盆踊り、ゲームコーナー、模擬店、抽選会など

(2) 西南ジャンボリー (主催：西南ジャンボリー実行委員会、西南小校区青少年を守る会)

実施日： 8月25日 (土)
実施場所： 西南小学校体育館
体験者数： 102名
実行委員会： 3回実施
職員従事者： 6名
内 容： さをり織り体験コーナー

(3) いきいきふれあい広場 (主催：西南小地区福祉会)

実施日： 11月17日 (土)
実施場所： 西南生涯学習センター
利用者参加： 1名
職員従事者： 6名
内 容： 野菜、さをり製品等の販売

(4) 社協バザー (主催：箕面市社会福祉協議会)

実施日： 12月9日 (日)
実施場所： 西南小学校体育館
職員従事者： 7名
内 容： 野菜、さをり製品等の販売

9. 職員研修実施状況

(1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者数	講師
平成30年 ・4月4日～4月18日 ・10月10日～10月24日	入職時研修会(2回)	14名	当福社会職員
平成30年 ・10月18日～10月31日 平成31年 ・2月5日～3月15日	虐待防止に関するケース スタディ(2回) ※平成30年度人権研修	199名	当福社会職員
平成30年10月27日	チームビルディング研修 ※正規職員対象	13名	CSねっと企画合同会社 長嶺 堅二郎氏 けあ人財アカデミー合同会社 垣内 イスズ氏
平成30年12月21日	腰痛予防研修	16名	嘱託作業療法士 笹井 久嗣氏
	合 計	242名	

(2) 事業・施設別研修参加状況

	平成29年度	平成30年度
法人本部	3名 (3件)	6名 (5件)
あかつき園・ワークセンターささゆり	56名 (42件)	34名 (12件)
わんすてっぷ	12名 (9件)	10名 (7件)
ささゆり園	198名 (28件)	43名 (15件)
地域生活総合支援センター	97名 (23件)	36名 (8件)
合 計	366名 (105件)	150名 (53件)

	研 修 内 容
法人本部	超カンタン! 決算書の見方、福祉人材確保・採用力強化のための研修会、社会福祉法人の運営とリスク管理、社会福祉法人における人材の確保と定着の促進 など
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	福祉職員研修(初任者)、福祉職員研修(中堅職員)、障がい児者施設課程(通所コース)、初任者のための実技講習(e-サービス)、障がい者施設課程(通所コース)、レクレーション研修、障がい児者施設課程(管理者クラス)、第三号喀痰吸引等研修、施設階層別人権研修、障がい者雇用を考えるゼミナール、相談支援従事者現任研修、人権セミナー など
わんすてっぷ	対人援助職に求められる人権感覚、地域共生社会の実現に向けて、感染症予防対策講習、地域であたりまえに暮らすということ など
ささゆり園	北摂感染制御研究会、感染症防止研修会、喀痰吸引研修、てんかん専門職研修、障がい児者施設課程(管理者クラス)、排泄ケア勉強会、口腔ケア勉強会、高次脳機能障がい地域支援者養成研修、みのお人権フォーラム など
地域生活総合支援 センター	新入職員のためのサービスマナーセミナー、障がい等福祉従事者研修会(非常勤職員研修)、障がい児者施設課程(入所コース)、喀痰吸引等研修、口腔ケアと口腔リハビリ、気持ちに寄り添う支援(障がい者の方への支援)、CSW スーパーバイザ実践連続講座、相談支援従事者現任研修、救急救命講習など

10. 実習生受入状況

(1) 進路支援に係る実習

受入施設	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	3名	6名	6日	支援学校卒業後の進路先の検討
	合計	3名	6名	6日	

(2) その他

受入施設	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ワークセンター ささゆり	箕面市	1名	3名	3日	福祉体験学習
	箕面市教育委員会	1名	2名	2日	福祉体験学習
わんすてっぷ	箕面市	4名	11名	11日	福祉体験学習
ささゆり園	箕面市	3名	5名	5日	福祉体験学習
	箕面市	2名	4名	4日	経験2年目教員研修
	訪問介護事業所 まいんぐ	2名	2名	2日	喀痰吸引実地研修
	箕面学園保育福祉専門学校	1名	1名	1日	介護実習
地域生活総合支援センター	ベストウェイケアアカデミー	2名	2名	2日	介護実習
	合計	16名	30名	30日	

11. ボランティア受入状況

事業・施設名	参加内容	参加回数	延べ参加者
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	日中活動	117回	272名
	イベント	7回	25名
わんすてっぷ	イベント	4回	28名
ささゆり園	イベント	15回	71名
	合 計	143回	396名

12. 視察・見学状況

(1) 受入状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	5名	施設見学
	永楽荘豊中	3名	施設見学
	箕面市立西南小学校	140名	施設見学
	豊中市立利根山小学校	1名	施設見学
	梅花高校	1名	施設見学
	箕面市障害者事業団	7名	施設見学
ささゆり園	箕面支援学校	1名	卒業生進路状況確認
	箕面支援学校	4名	施設見学
	利用者家族	2名	施設見学
	求職者	3名	施設見学
	箕面市消防本部	2名	消防訓練視察
	箕面市立病院	2名	施設見学
	大阪府重症心身障害児・者を支える会	3名	施設見学
	箕面保育園	27名	施設見学
	箕面市民	11名	施設見学
	箕面市民	1名	華道教室見学
	合 計	213名	

(2) 視察・見学実施状況

施設・事業	見学・視察先	人数	目的
ささゆり園	和歌山マリーナシティ ポルトヨーロッパ	2名	宿泊旅行下見
	滋賀県立琵琶湖博物館	2名	日帰り旅行下見
	東映太秦映画村	2名	日帰り旅行下見
	合 計	6名	

13. 講師派遣状況

派遣先	件名	派遣講師
大阪府社会福祉協議会	平成30年度リスクマネジメントに関する研修会	福田 寛久
箕面市肢体不自由児者父母の会	父母の会キャンプボランティア講習会	篠永 曙光

14. 役員名簿

(1) 理事

平成31年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
理事長	永田 吉治	箕面地区保護司会	理事	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	石田 良美	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	山内 照和	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	事業区域の福祉に通じる者
理事	吉田 功	元 箕面市職員		事業区域の福祉に通じる者
理事	村田 尚記	箕面市健康福祉部	副部長	事業区域の福祉に通じる者
理事	福田 寛久	社会福祉法人あかつき福祉会 わんすてっぷ	所長	施設管理者

(2) 監事

平成31年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
監事	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	社会福祉事業の識見を有する者
監事	齋藤 堅造	箕面市会計室	会計管理者	財務管理の識見を有する者

(3) 評議員

平成31年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員	甲斐 節男	西南小地区福祉会	会員	地域の福祉関係者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団	事務局次長	地域の福祉関係者
評議員	奥田 雅博	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 明光ワークス	所長	地域の福祉関係者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人息吹	理事長	社会福祉事業の経営者
評議員	木村 知也	箕面ロータリークラブ	親睦活動委員長	地域の福祉関係者
評議員	笥 加代	社会福祉法人あおぼ福祉会 瀬川保育園	園長	社会福祉事業の経営者
評議員	今仲 徹	大阪府立箕面支援学校	教諭	地域の福祉関係者
評議員	櫻原 淳子	箕面市肢体不自由児者父母の会	書記	地域の福祉関係者

(4) 評議員選任・解任委員会委員

平成31年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員 選任・解任 委員会委員	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	監事
評議員 選任・解任 委員会委員	東 有希子	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立あかつき園・ワークセン ターささゆり	所長	事務局員
評議員 選任・解任 委員会委員	多田 育雄	NPO法人箕面ラポール	監事	外部委員

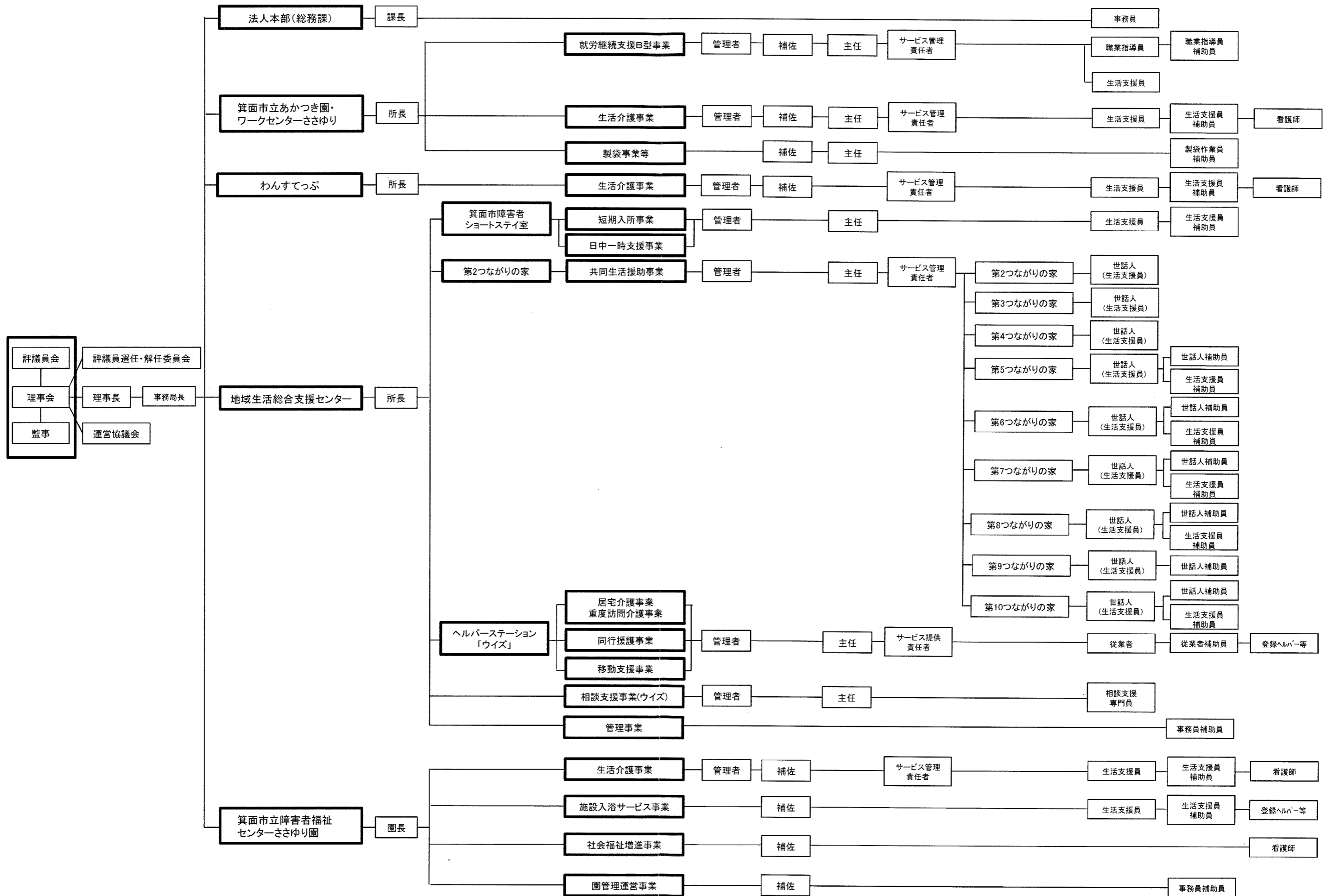
(5) 運営協議会委員

平成31年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
運営協議 会委員	石黒 恵津子	箕面手をつなぐ親の会	会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	羽藤 隆	箕面市身体障害者福祉会	副会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	会長	地域の代表者
運営協議 会委員	平安 幸子	日本赤十字奉仕団（箕面）	団員	地域の代表者

15. 平成30(2018)年度組織図

平成31年3月31日現在



16. 平成30(2018)年度職員内訳

平成31年3月31日現在

部局名	正規職員	支援職員	臨時職員	合計
法人本部	3名	3名	0名	6名
あかつき園・ワークセンターささゆり	9名	19名	35名	63名
わんすてっぷ	1名	2名	3名	6名
障害者福祉センターささゆり園	2名	5名	19名	26名
地域生活総合支援センター	5名	17名	18名	40名
合計	20名	46名	75名	141名

注1) 法人本部の支援職員には、障害者職員を含む

注2) あかつき園・ワークセンターささゆりには、製袋担当職員を含む

注3) 臨時職員数には、バス添乗等の短時間勤務職員を含む

注4) その他、登録ヘルパー約20名(実質稼働者数)